

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2018年7月19日
所属学部	文学部
所属学科・専攻	国際言語文化学科スペイン語専攻

1. 留学先について

留学先大学名	サラマンカ大学					
留学先所属学部等	翻訳・文献学部 翻訳・通訳学科					
留学期間	出発日 2017/9/13	入学日 2017/9/18	修了日 2018/6/15	帰国日 2018/7/18		
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート	その他()			
	通学時間	15分		On campus		
	通学方法	徒歩				
	居室スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 個室	() 人部屋	その他()		
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室	<input checked="" type="checkbox"/> キッチン	<input checked="" type="checkbox"/> トイレ	<input checked="" type="checkbox"/> バス	<input checked="" type="checkbox"/> リビング
食事	自炊 75%	学食 %	外食 25%	その他 %	()	
保険	海外旅行保険(名称)	損保ジャパン日本興亜保険				
	派遣先大学指定の保険(名称)	europ assistance			<input checked="" type="checkbox"/> 強制加入	
	その他					
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウイスコンシン(電車)					
	羽田 ⇄ マドリード(飛行機) ⇄ サラマンカ(バス)					

2. 留学にかかった費用について

総費用	150~160万		円				
出処							
自費	<input type="checkbox"/> 貯金	円	<input type="checkbox"/> アルバイト	円	<input type="checkbox"/> その他	円	
援助	<input checked="" type="checkbox"/> 両親	30万	円	<input type="checkbox"/> 家族・親戚	円	<input type="checkbox"/> その他	円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO	80万	円	<input type="checkbox"/> その他名称()		円	
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 千葉大学助成金	40万	円	<input type="checkbox"/> その他()		円	

2-1. 財政管理の方法

渡航時	現金	5万	円	その他()	円
留学中	海外送金	<input checked="" type="checkbox"/>	キャッシング	その他()	

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	
住居にかかった費用	全額現金で手渡しで
その他	クレジットカードや現金で

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			15万	円
海外旅行保険			13万	円
OSSMA			2万	円
査証・在留許可証			1万=8000(査証)+2000(在留許可証)	円
住居	ユーロ	2100	30万	円
食費			50万	円
通学に要する交通費				円
教科書、教材費			1万	円
その他大学に支払った経費				円
光熱費	ユーロ	300	4万	円
その他 (旅行)			40万	円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類ex.正規、聴講	単位数	単位互換認定申請の有無		
1 SEMINARIO DE TRADUCCIÓN JAPONÉS/ESPAÑOL	正規	3	×	有	無
2 LINGÜÍSTICA APLICADA A LA TRADUCCIÓN	正規	4	×	有	無
3 LENGUA ESPAÑOLA	正規	4	×	有	無
4 FUNDAMENTOS PARA LA TRADUCCIÓN 1ª LENGUA EXTRANJERA: IN	正規	2	×	有	無
5 POLÍTICA Y GOBIERNO DE ASIA	正規	3		有	×
6 LA TRADICIÓN CLÁSICA	正規	2		有	×
7				有	無
8				有	無
9				有	無
10				有	無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

大学のウェブサイトからシラバスにアクセスして授業を選び、実際にその授業を受けてオリエンテーションを聞き、授業内容や課題などを確認して授業を決定する。登録する授業の学部の事務に予約をし、その時間に登録をしに行く。授業開始時に、個人の情報を書いた紙を各授業の教授に提出する。

3-2. 授業内容、方法に関して

授業の仕方は教授によって異なっていたがほとんどすべての授業で生徒が活発に発言したり学びに行く姿勢を見せていた。出席を毎回取る授業は少なく、出席点は教授の印象によるものであるため生徒たちは発言の機会を得るために積極的に授業に参加していた。また教授によって尊敬語を使うか使わないかに分かれ、生徒もタメ口の形で教授とコミュニケーションをとる授業も多かった。少人数体制の授業は発言をする機会や生徒同士で話し合ったりペアで活動することも多い。評価方法は主に出席、またプレゼンテーションやレポート、テストのいずれかであり、レポートは基本全てスペイン語であった。また学部によって生徒の雰囲気や留学生に慣れていて友好的な学部もあればあまり慣れていない生徒の多い学部もあった。

3-3. 語学力について

最初の三か月は授業に出ても教授のスペイン語についていけず大変だった。録音などをして速度を落として聞き復習をしていた。友達とのコミュニケーションでも早く話されるとついていけないことが多かった。何度も聞き返すのが怖くてあまり積極的にコミュニケーションをとりに行けなかったように思う。それが悔しくて夜はスペイン語のオーディオやラジオを聴きながら寝ていた。理解できないという自分の能力不足を顕著に毎日感じ、それがモチベーションとなっていた。三か月が過ぎると意識しなくてもスペイン語が理解できるようになり、分からない単語や自分の話す能力の低さに目が行くようになった。理解力の向上により友達とコミュニケーションをとることが楽しくなってきたころでもあった為、スペイン人の友達と集まってスペイン語を教えてもらう代わりに日本語を教えたり、留学生と知り合って積極的に会話をするようにしていた。半年が過ぎるころにはコミュニケーションに言語の壁を感じることも少なくなり、授業にもだいぶついていけるようになっていた。スペイン人や他の国の留学生とスペイン語で交流することが楽しくて積極的に友達を作るようにし、また知り合って長い友達とはプライベートや人生観など様々なことを話し、スペイン

3-4. 図書館など学内施設について

サラマンカ大学は学部ごとに違う建物が設置されており、比較的新しい経済学部などの建物群と伝統的な文献学部などの学部群に分かれていた。文献学部や私の留学していた翻訳学部は街の中心地にあり、便利な位置にあった。サラマンカはそんなに大きな町ではないので基本徒歩である程度の場所には行けることができた。各学部ごとの図書館があり、その他にもいくつか図書館があり、テスト期間などには生徒で賑わっていた。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

スペインでは学生は寮かピソというシェアアパートに住むのが一般的であり、個別に部屋があってキッチン・トイレ・リビングは共同で使う。私は一回引っ越しをして、前期はモロッコ人と日本人の女の子二人と、後期はスペイン人の男の子二人と住んでいたが、みんな学生だったため時間が合うことが多く、仲良くなった。友達の中には社会人と住んでいてほとんど時間が合わない、と言っていた人も多かった。長い時間を共有するルームメイトと仲良くなれる可能性も高いが、家ではプライベートを尊重して一人でゆっくり過ごしたいという人もいた。家賃の払い方はピソによって変わり、前期はオーナーがピソに来てくれていたが後期は毎月オーナーのもとへ払いに行かなければならなかった。また後期はガスポンベも自分たちで買いに行かなくてはならなかった。

4-2. 食生活について

食事は基本自炊していたため日本食が恋しくなることはほとんどなかった。またルームメイトと日替わりで料理を作り合ったりすることも多く、食事の時間がコミュニケーションの時間にもなっていた。他の友達とはよくバルへ飲みに行ったり、日本食や中華料理のレストランに食べに行ったりしていた。また食べ物を持ち寄ってパーティーをしたり、友達の家を集まって宅配のものを頼んだりすることもあった。スペインの食事の時間は日本よりも遅く、朝ご飯は10時から12時、昼ご飯は午後2時から4時、夜ご飯は午後9時から11時あたりに食べていた。最初は慣れなかったこの食生活も食事の時間を誰かと共有することで自然と慣れていった。日本では寿司は手巻き寿司しか作ったことがなかったが、寿司が好きな外国人は多く、家で手巻き寿司パーティーをしたり巻きずしを作ったりするとみんな喜んでくれた。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

わたしのケータイはiPhone6だったためSIMカードが適用されず現地で安いケータイを購入してWifi環境下ではiPhone、それ以外はそのケータイで対応していた。サラマンカの中心地のカフェやレストランではWifiがあるとところも多く、また大学でもWifiが使えたのでネット環境で困ることはそれほどなかった。

4-4. 服装について

荷物に制限があった為服は必要最低限持っていき、必要ならばその都度現地で購入していた。前年度留學生からのすすめでヒートテックやカイロを持っていき、寒い冬には重宝した。日本には売っていないようなデザインやシステムの服もあり、友達とたまにショッピングに行ったりするのも楽しかった。スペインでは女の子の服も可愛いというよりかっこいいデザインが好まれることの方が多く、スカートやショートパンツをはいている子は特に夏以外はあまり見かけず、長ズボンをはいている人が圧倒的に多かった。また中国人の友達サンダルに靴下を合わせていて日本でもあまり珍しくないけれどスペイン人達からからかわれていたそのような文化の違いも面白かった。

4-5. 健康管理について

サラマンカでは朝夜は寒くて昼間の太陽が照る時間に気温が高くなることが多いので服の調整が難しかった。ホッカイロや保冷剤を使う体温調節はこっちでは一般的ではないようで、お店でも見かけなかった。特に冬の寒さは予想していたよりも厳しく、冬服は現地でいくつか調達した。また一年を通して空気が乾燥しており、目薬を多用していた。また異常気象なのか三月には気温が急上昇して軽い熱中症になったこともあったがそれ以外は風邪などもほとんど引かず健康に生活していた。

4-6. 保険、OSSMAの利用

利用することはなかった。

4-7. 課外活動について

サラマンカの日西センターが募集していたスペインと日本の文化交流のイベントに応募して、隣町の料理学校に行き風呂敷や折り紙を教える代わりにチーズの切り方の講習会やワインなどを飲みながらの交流会に参加した。参加者の年齢層は割と高かったがみんな楽しそうに折り紙や風呂敷に挑戦していて楽しかった。またサラマンカ大学では頻りに講演会が開かれていて、日本の漫画の翻訳やアイヌ文化、またスペインの代表的な詩人による詩の講演会などに参加し、どれも興味深かった。日西センターではたびたび文化習慣というものがあり、日本の文化の展示などがあった為スペイン人の友達を誘ってそれらを見に行くこともあった。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

毎週末曜日にはインテルカンピオという日本語とスペイン語を教え合う交流会があり、そこでは日本語を専攻している学生だけでなく日本語を勉強している様々な人達と知り合うことができた。またルームメイトの友達や友達の友達などとパーティーなどで知り合い、そこから交流を深めることも多かった。

4-9. 日本から持参してよかったもの

ホッカイロや熱さまシート、ヒートテックなど体温を調整できるものは重宝した。また錠剤も様々なものを買っていったので向こうで困ることがなくてよかった。また日本のお面などの絵が描かれているパックやはがきなどはプレゼントとして贈ると喜ばれたので良かった。また自分の名前が掘られた箸なども話題になったので良かった。また浴衣を一式持っていたので日本文化に興味のある友達に着せてあげるとも喜ばれた。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

日本食に関するものは中国人が経営するお店でほとんど手に入るのを持っていく必要は特になかったかなと思う。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

ヨーロッパ全体でそうだが特にスペインでは男尊女卑による反感を持つ人が多く、女性への暴力などの事件が起こるとスペイン人たち、とくに女の子たちは敏感に反応して、国際女性デーなどの際には沢山の人が看板や旗を持って広場や大学前で集っては平等な社会を求めて叫び声をあげていた。スペイン人は自分の意見を素直に言うことが多く、スペイン語自体が直接的な言語であるため初めはそのようなコミュニケーションの取り方に慣れなかった。しかし慣れてくると言い回しは間接的であったり、ジョークなどが多く飛び交う会話などを楽しむようになっていった。自由な人生を好む人が多いので、その点ではお互いを尊重する人も多かった。またお互いの悪口を言い合うことは仲のいい友達の証であったりするので「僕の悪口を言え」などと冗談半分で言われたこともあった。サラマンカでは特に違いを受け入れる傾向があり、ゲイやレズビアンなどの友達なども堂々としていて、また周りも遠慮せず彼らのジョークなどをよく言っ

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

【モロッコ・マラケッシュ/シャウエン/テトウアン/フェズ(観光)&スペイン・セウタ/マラガ/セビジャ】2017年12月(14日間)、約12万
 【イタリア・ローマ/ナポリ/フィレンツェ/ヴェネツィア(観光)】2018年3月(12日間)、約10万
 【インド・プネ/ラバサ(観光)】2018年7月(10日間)、約4万
 【スペイン・バルセロナ(観光)】2018年6月(3日間)、約2万
 【スペイン・サン・セバスチャン/ビルバオ(観光)】2017年11月(4日間)、約5万
 【スペイン・バレンシア(観光)】2018年2月(2日間)、約1万
 【スペイン・カセレス(観光)】2017年11月、約1万
 【ポルトガル・リスボア/シントラ】2018年6月(3日間)、約3万

* 気分転換やストレス発散法など。

前期はヨガのクラスを取って週二回行って、後期は川の近くの公園へランニングへ行ったり、家で軽いエクササイズなどをしたりしていた。また友達と集まってパーティーをしたりしており、友達と話すことが何よりいい気分転換になっていた。

5. その他

5-1. 留学先大学について

サラマンカ大学はヨーロッパ中から留学生の集まってくる伝統のある大学で町はいつも学生で賑わい活気があります。サラマンカの学生たちは熱心な生徒も多く、真剣に授業に臨み活発に意見や質問をします。またそんな生徒たちに対して教授たちも一つ一つの質問や要求に真摯に向き合い、一つでも多くの物を学んでいってもらおうとしている姿勢が常にありました。様々な国や人種、文化のまじりあうサラマンカの街では差別や偏見なども少なくとても生活しやすい環境が整っています。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

きつと最初の一か月から三か月は言語の壁を感じたり慣れない環境で不安なことも多いと思います。違う世界に飛び込んでいく時怖いのは当然です。そこでもがく機会も大切にしてください。語学力の向上は数週間、数か月経つときつと自分でも気づくはずですが、習慣や文化の違いも積極的に感じていってください。何か違うものに触れる度に、自分の考えや世界は変わっていきます。日本にいて遠慮や周りとの壁を作ること慣れてしまっている人も多いかもしれませんが、留学中は周りの人々となるべく「壁を作らない」よう心がけていると今までと違った自分や体験、自分のやりたいことが見えてくると思います。

5-3. 留学を終えて

留学をする前は様々なことに不安を抱えていました。留学はもちろんのこと、何か新しいことや自分がまだよく知らないものをしていなければならない時にはいつも様々なことを心配して怖がっていました。日本の社会では誰もが上手くすべてをこなそうとしていて、私はいつも失敗を恐れていました。しかしこの10か月の留学は何も知らない、何度も失敗する私をいつでも温かく肯定してくれました。まだスペイン語のままならなかった私を受け入れたスペインの社会、言葉や文化の壁にぶつかってもいつでもお互いを理解しようとしてくれた様々な国の友達。次第に失敗する恐怖や何かを意味もなく不安がることはなくなっていました。またヨーロッパの社会は私に主体的に生きることを教えてくれました。私を見る周りの誰かよりも私の人生に責任のある私に目を向けるということ、自分はどうしたいかを考えること、自分の意見を持つこと。スペインで学んだ沢山のこと、留学生の友達と交流して学んだ沢山のことを日本でも忘れず、失敗を恐れずに自分の人生を歩んでいきたいです。